



日本農業新聞 6月23日

栽培上の留意点としては、「はるか二条」はうどんこ病およびオオムギ縮萎縮(しまいしゅく)病ウイルス系統Ⅰ型、Ⅲ型に抵抗性を持っている品種ですが、赤かび病にはやや弱いので、適期に赤かび病の防除をすることが重要です。

栽培上の留意点としては、「はるか二条」はうどんこ病およびオオムギ縮萎縮(しまいしゅく)病ウイルス系統Ⅰ型、Ⅲ型に抵抗性を持っている品種ですが、赤かび病にはやや弱いので、適期に赤かび病の防除をすることが重要です。

及拡大により県内の麦作振興が期待されます。
(県農林技術開発センター 段口貴大)

二条大麦「はるか二条」の特性 多収で高品質を期待 赤かび病防除が重要

県内で作付けされている二条大麦は、主として「ニシノホシ」が食用、焼酎醸造用として栽培されていますが、生産者の収益性向上や、加工原料用麦の需要量確保を図るため、多収かつ高品質な品種が求められています。そこで、今回九州沖縄農業研究センターが育成した多収で高品質が期待される二条大麦新品种「はるか二条」について、本県での適応性を検討し、その特性を明らかにしました。

「はるか二条」は、「ニシノホシ」と比較して、出穂期は3日早く、成熟期は同程度で、稈(かん)長が短く、穂数が多く、大粒で容積重も重いため収量性に優れます。また、検査等級についても「ニシノホシ」と同程度の品質であり、精麦業者からの評価も高く、焼酎などへの加工適性も高いと考えられます。

「はるか二条」は、2013年12月に長崎県の奨励品種に採用され、五島地域では、14年産から「ニシノホシ」に替わり普及が始まっています。また、県内各地の麦作地帯においても、現在、導入を検討しているところ、今後「はるか二条」の普

「はるか二条」と「ニシノホシ」の性質比較

品種名	出穂期 (月、日)	成熟期 (月、日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏	赤かび病	うどんこ病	子実重 (kg/a)	収量比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	検査等級
はるか二条	4.01	5.18	77	6.3	555	0.3	0.1	0.0	42.1	124	722	45.5	2.3
ニシノホシ	4.04	5.18	81	6.5	507	0.1	0.0	0.0	34.0	100	687	42.1	2.9

注1：農林技術開発センター2010～13年産

注2：病害程度、倒伏程度は0(無)～5(甚、完全倒伏)の6段階表示

注3：検査等級は1(1等上)～6(2等下)および7(規格外)の7段階表示